

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	うるぎ木(もく) フェス～もういちど木と暮らそう～
事業主体 (連絡先)	うるぎ星の森音楽祭実行委員会 電話0260-28-2000
事業区分	(1)地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,164,626 円

## 事業内容

- 平成28年9月4日(日)「もういちど木と暮らそう」をテーマに、音楽と共に「木」をテーマにしたブース出店、体験イベント、その他、飲食ブースや子ヤギと遊べるブース等を実施。前夜祭は、満天の星空の下、星空コンサート&星空ショーを開催した。
- 「もういちど木と暮らそう」をテーマとし、村内外のイベントに売木村と共催で出店し、うるぎ檜のPRを実施。①9月18日(日):どんぐりの里(豊田市稲武)、②10月1日(土)、2日(日):遠州バザール(浜松市)、③10月30日:三遠南信食の祭典(茶臼山)④11月6日(日):秋色感謝祭&新米まつり(売木村)



【会場(ステージ前)の様子】

## 【目標・ねらい】

- うるぎ檜知名度の向上
- こまどりの湯利用者の増加
- 地域住民への効果
- うるぎ星の森オートキャンプ場利用者の増加

## ※自己評価【A】

【理由】 集客目標500人に対し、予想を大幅に上回る約1,500人の集客を実現できた。また、「もういちど木と暮らそう」をテーマに木工関係の出店、体験ブースを実施したことにより参加者の満足度も高いイベントとなった。

## 事業効果

- 本イベント内の木工体験等を実施する出店者8店舗に、うるぎ檜を使用してもらい、参加者の方にうるぎ檜をPRすると共に、出店者にもうるぎ檜を認識してもらう事ができた。
- こまどりの湯利用者が、本イベントの効果により、2日間で54人増(1.07倍)の増加が見られた。
- 地元の製材所等にもイベント出店等で協力してもらうことにより、地域住民の木材に対する意識の向上、さらにうるぎ檜を使った製品を新たに考案・製造して、村内店舗に出品した村内業者があった。地元中学校音楽部の生徒がステージに出演し、一流アーティストと同じステージに立つことにより、音楽的感性を高める機会となった。
- 本イベントがきっかけで、通常利用するキャンプ好きのお客様以外の新たな層の新規ファンの創造に繋がった。

## 今後の取り組み

今年度、新たな取り組みとして「もういちど木と暮らそう」をテーマに、音楽だけでなく、木をコンセプトにした出店、体験ブース等を繰り広げることができ、参加者の方からも大変好評だった。今後、さらにこの「もういちど木と暮らそう」のコンセプトを全面的に押し出し、出店者、協力企業等の協力を募ると共に、引き続き「うるぎ檜」の知名度向上にも繋げる。

前夜祭の星空コンサート&星空ショーでは、天の川を鑑賞することもでき、まさに「星の森」を体感をすることができ大成功となった。引き続き、会場である「うるぎ星の森オートキャンプ場」の売りの一つである「星」をイベントのフィナーレとして開催していく。ただ、今回の開催は日曜日がメインの開催日となったが、日曜日開催となるとどうしても午後以降の時間帯になると客足が引いてしまうため、今後の開催については土曜日開催とし、同日の夜に星空ショーを開催しイベントのフィナーレとしていく。